

平成 24 年度 ごみ処理状況について

富士市環境部廃棄物対策課

# 平成 24 年度 ごみ処理状況について

3 月末 現在

～ごみ処理総量は減少傾向が続くが、焼却量については横ばい状態～

…… フジスマートプラン21に掲げる目標値の達成状況について、1人1日当たりの排出量は、目標値を達成できましたが、焼却量については、ほぼ横ばいで推移しており目標値を達成することはできませんでした。……

## 1)ごみ処理総量等

※ 平成23年3月15日に発生した静岡県東部地震による瓦礫は下表のデータには含まれていません。  
瓦礫総量:4,913t (うち、リサイクルされたもの:4,898t、埋立にまわったもの:15t)

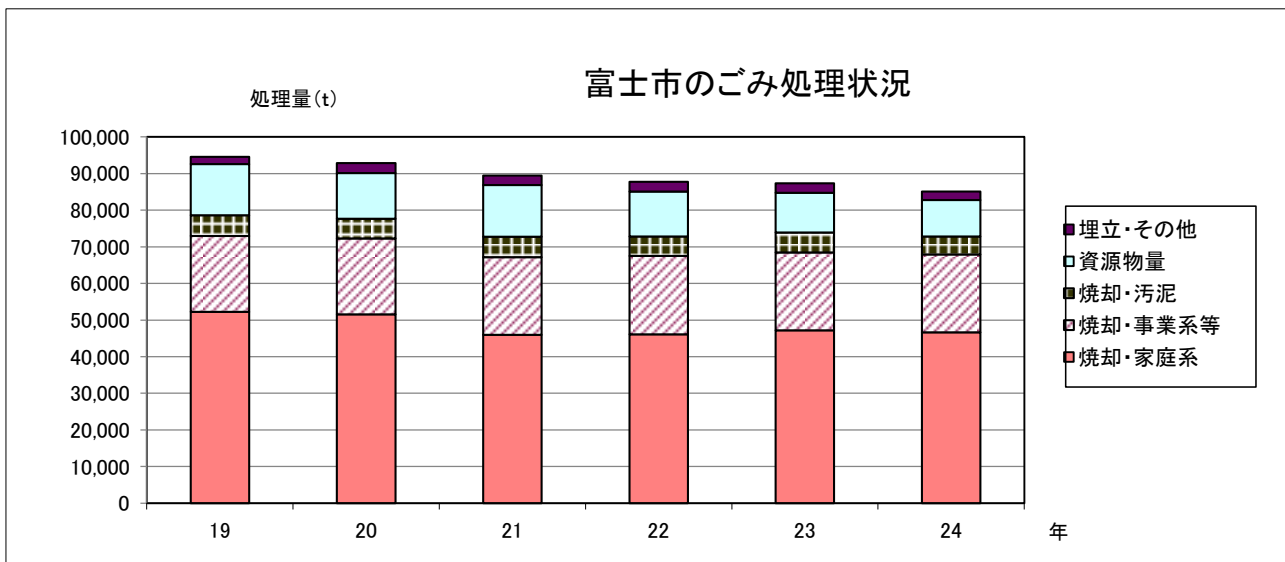
富士市のごみ処理量 (単位:t)

※ 平成24年度のごみ焼却量の中には、東日本大震災による災害廃棄物広域処理分 49tが含まれています。

年度		H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	差引
ごみ処理総量	量(t)	94,577	92,859	89,472	87,724	87,344	85,118	△ 2,226
	増減率(%)		-1.8%	-3.6%	-2.0%	-0.4%	-2.5%	
焼却量	量(t)	78,580	77,645	72,716	72,817	73,907	72,821	△ 1,086
	増減率(%)		-1.2%	-6.3%	0.1%	1.5%	-1.5%	
家庭系	量(t)	52,271	51,555	45,942	46,130	47,199	46,625	△ 574
	増減率(%)		-1.4%	-10.9%	0.4%	2.3%	-1.2%	
事業系 その他 *1	量(t)	20,661	20,715	21,196	21,356	21,289	21,253	△ 36
	増減率(%)		0.3%	2.3%	0.8%	-0.3%	-0.2%	
下水処理汚泥	量(t)	5,648	5,374	5,578	5,331	5,419	4,942	△ 477
	増減率(%)		-4.9%	3.8%	-4.4%	1.7%	-8.8%	
資源物量 *4	量(t)	13,983	12,489	14,156	12,242	10,824	9,923	△ 901
	増減率(%)		-10.7%	13.3%	-13.5%	-11.6%	-8.3%	
埋立・その他 *2	量(t)	2,014	2,726	2,600	2,665	2,612	2,375	△ 237
	増減率(%)		35.4%	-4.6%	2.5%	-2.0%	-9.1%	
スマートプラン対象 *3	量(t)	88,820	86,831	83,476	81,987	81,686	79,830	△ 1,856
	増減率(%)		-2.2%	-3.9%	-1.8%	-0.4%	-2.2%	

\*1 災害廃棄物広域処理分を含む \*2 直接埋立、破砕埋立、マット・ソファ・罹災物を含む (罹災物については、対前年比で 57.8 t 増加。)

\*3 スマートプラン対象=ごみ処理総量-(下水・汚泥+罹災物+災害廃棄物広域処理) \*4 行政回収量のみ把握(集団回収量等については不算入)



①ごみ処理総量は、85,118 tとなり、対前年比で 2.5 % の減少

○前年と比較したごみ処理総量の △ 2,226 t の内訳は、埋立その他で 237 t 減少、資源物量については 901 t 減少、焼却量についても 1,086 t 減少した。

②環境クリーンセンターでの焼却量は、72,821 tとなり、対前年比で 1.5 % の減少

○対前年比で家庭系ごみが、574 t 減少し、事業系・その他も 36 t 減少している。

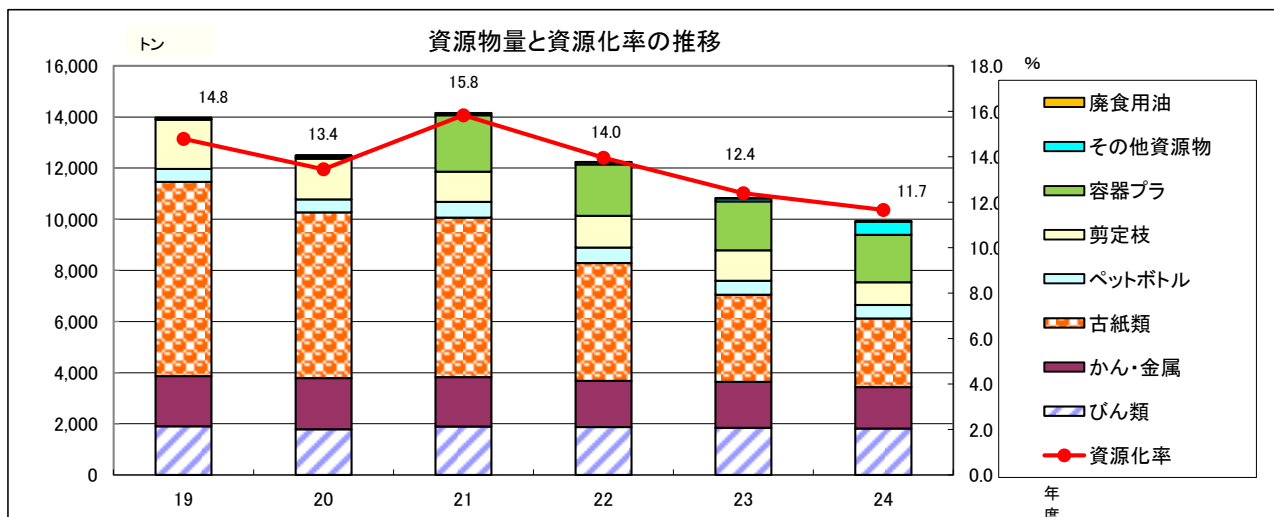
ごみ処理総量は減少傾向にありますが、その要因は、資源物量の減少(特に古紙類、行政回収量のみ把握)によるところが大きいです。  
環境クリーンセンターでの焼却量については、家庭系可燃ごみ及び事業系可燃ごみについても、近年はほぼ横ばいで推移しており、下げ止まりの傾向が見られます。

## 2) 資源化物量 (行政回収量のみ)

富士市の資源化物量(t)と資源化率(%)

項目 \ 年度	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	差引
資源物総量	13,983	12,489	14,156	12,242	10,824	9,923	△ 901
びん類	1,901	1,789	1,889	1,875	1,847	1,814	△ 33
かん・金属	1,966	1,994	1,933	1,806	1,792	1,626	△ 166
古紙類	7,596	6,488	6,240	4,609	3,408	2,677	△ 731
剪定枝	1,939	1,599	1,182	1,239	1,190	889	△ 301
ペットボトル	503	502	620	601	547	529	△ 18
衣類・小物類(靴、鞆、ベルト)*2	9	9	17	19	29	405	376
その他 (電池・コード類・小型家電・蛍光灯)	66	64	66	19	29	108	79
容器プラ(白色トレイ含む)	3	43	2,201	2,016	1,917	1,857	△ 60
廃食用油	0	1	8	9	13	18	5
資源化率 *1	14.8%	13.4%	15.8%	14.0%	12.4%	11.7%	-0.7%

\*1 資源物総量÷ごみ処理総量×100【スマートプラン21による資源化率とは算出方法が異なるので注意】



- ①資源物総量は 9,923 t で、対前年比で 901 t ( 8.3 % ) 減少した。
- ②ごみ総量が 減少 し、資源物総量も 減少 した。その結果、資源化率は 11.7 % と前年度より 0.7 ポイント 下回った。(ごみ処理総量に対する資源化率)
- ③びん、かん・金属、古紙の主要品目で全資源物量の約8割を占めているが、対前年比でそれぞれ  
びん 1.8 % 減少、かん・金属 9.3 % 減少、古紙類は 21.5 % 減少している。
- ④ペットボトル、剪定枝、衣類・小物類、容器プラ、廃食用油の比較的近年に取り組み出した品目について

○ペットボトル	18 t	(対前年比 3.3 % )	減少している。
○剪定枝	301 t	(対前年比 25.3 % )	減少している。
○衣類・小物類(靴、鞆、ベルト等)	376 t	(対前年比 1305.8 % )	増加している。
○容器プラ	60 t	(対前年比 3.1 % )	減少している。
○廃食用油	5 t	(対前年比 38.4 % )	増加している。

- ◇びん類は、少しずつですが減少傾向にあります。
- ◇古紙類は、民間事業者が設置する古紙リサイクルボックスの利用の増加(平成24年度に実施したアンケート調査の結果では平成23年度は7,400t程度)などにより、今後も行政回収量の減少傾向が続くと考えられます。
- ◇かん・金属類、ペットボトルについては、減少傾向で推移しています。
- ◇今年度から拠点回収を開始した衣類・小物類については、回収量の大幅な増加が見られます。
- ◇容器プラについては年々減少傾向にあり、分別意識の低下が考えられます。
- ◇廃食用油については、小学校が拠点回収先として定着してきており、増加傾向となっています。

### 3)フジスマートプラン21目標値との対比

- スマートプラン21に基づく1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率について

(単位: g)

年度	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
1人1日当たり排出量(目標値)	980	960	940	930	910	890
1人1日当たり排出量(実績値)	994	973	874	860	857	843
1人1日当たり焼却量(目標値)	727	705	682	730	710	680
1人1日当たり焼却量(実績値)	816	810	703	707	718	717
資源化率(目標値)	26%	27%	27%	19%	20%	21%
資源化率(実績値)	15.7%	14.4%	17.0%	14.9%	13.3%	12.4%

※目標値との対比においては、し尿汚泥・下水道汚泥・罹災物・災害廃棄物広域処理は除く。(災害廃棄物広域処理量 49 t)

※1人1日当たりの排出量(g) = スマートプラン対象(t) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

※1人1日当たりの焼却量(g) = (焼却量(t) - 下水・し尿汚泥(t) - 災害廃棄物広域処理(t)) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

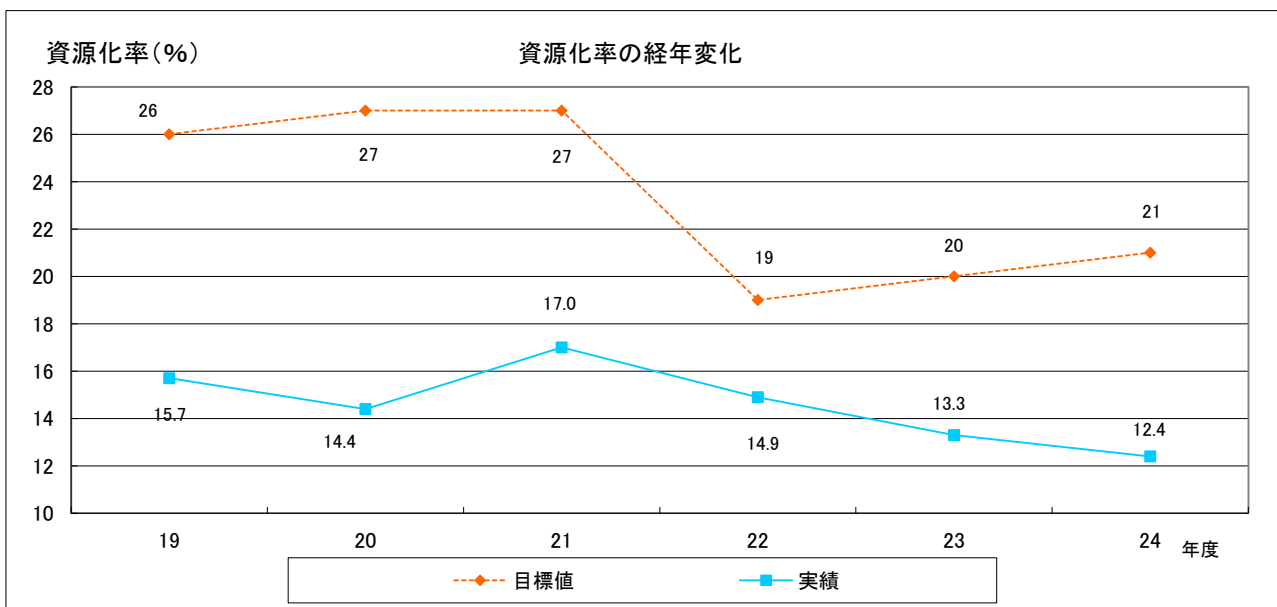
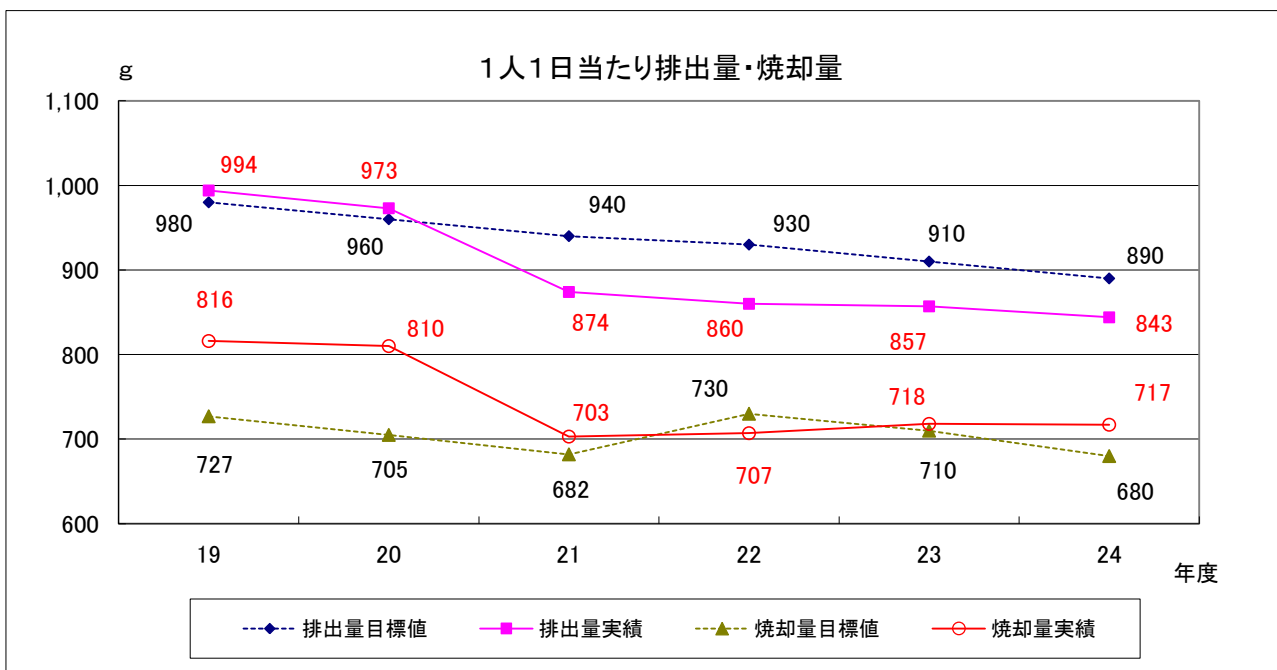
※資源化率(%) = 資源物量 ÷ スマートプラン対象 × 100 (資源物量については、行政回収量のみ)

※富士市人口 259,339 人( 3 月末現在)

【スマートプラン対象値の構成】

(単位 : t)

年度		H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	構成比
項目								
焼却量 (下水・し尿汚泥・災害廃棄物広域処理は除く)	量(t)	72,932	72,270	67,138	67,486	68,488	67,829	85.0%
	増減率(%)		-0.9%	-7.1%	0.5%	1.5%	-1.0%	
資源物量	量(t)	13,983	12,489	14,156	12,242	10,824	9,923	12.4%
	増減率(%)		-10.7%	13.3%	-13.5%	-11.6%	-8.3%	
埋立(罹災物を除く)	量(t)	1,906	2,071	2,181	2,259	2,374	2,078	2.6%
	増減率(%)		8.7%	5.3%	3.6%	5.1%	-12.4%	
スマートプラン対象	量(t)	88,820	86,831	83,476	81,987	81,686	79,830	100%
	増減率(%)		-2.2%	-3.9%	-1.8%	-0.4%	-2.2%	



①スマートプラン対象値については、79,830 tとなり、対前年比で 2.2 % 減少し、  
焼却量についても、67,829 t となり、対前年比で 1.0 %の 減少となった。

○スマートプラン対象値における焼却量(下水・し尿汚泥・災害廃棄物は除く)の構成比は 85.0 %であり、対前年比で  
1.2 ポイントの増加となっている。

○スマートプラン対象値における資源物量の構成比は、12.4 %であり、対前年比で 0.9 ポイントの  
減少となっている。

○スマートプラン対象値における埋立量(罹災物は除く)の構成比は、2.6 %であり、対前年比で 0.3 ポイントの  
減少となっている。

②1人1日当たりの排出量は 843 gであり、対前年比で 14 g ( 1.6 %)の  
減少 となり、目標値 890 gに対して 47 g 下回り、目標値を達成した。

◇目標値に対する割合…… 5.2 % 減少し、達成できた。

③1人1日当たりの焼却量は 717 gであり、対前年比で 1 g ( 0.2 %)の  
減少 となり、目標値 680 gに対して 37 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 5.4 % 超過し、達成できていない。

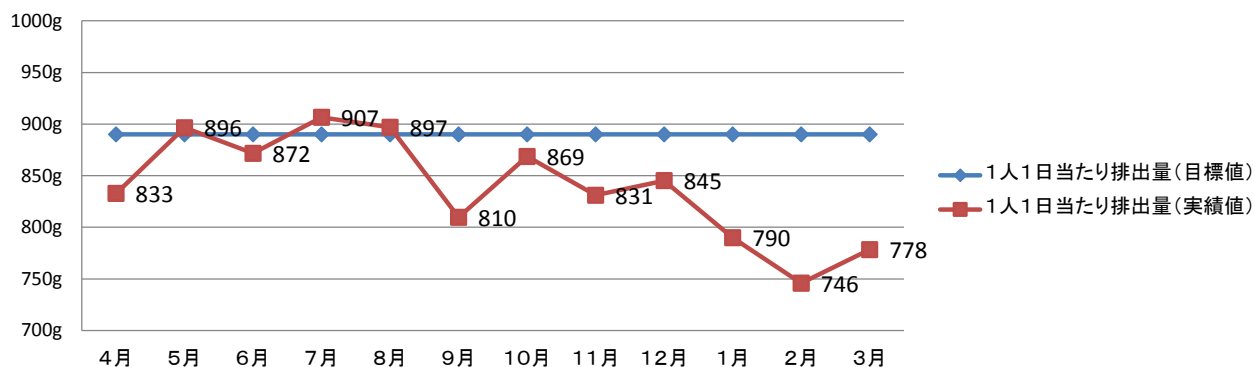
④資源化率は 12.4 %であり、対前年比で 0.9 ポイント下回り、目標値 21 %  
に対しては 8.6 ポイント下回り、目標値を達成できていない。  
(資源物量については、行政回収のみ把握)

● 各月で見た1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率の達成状況について

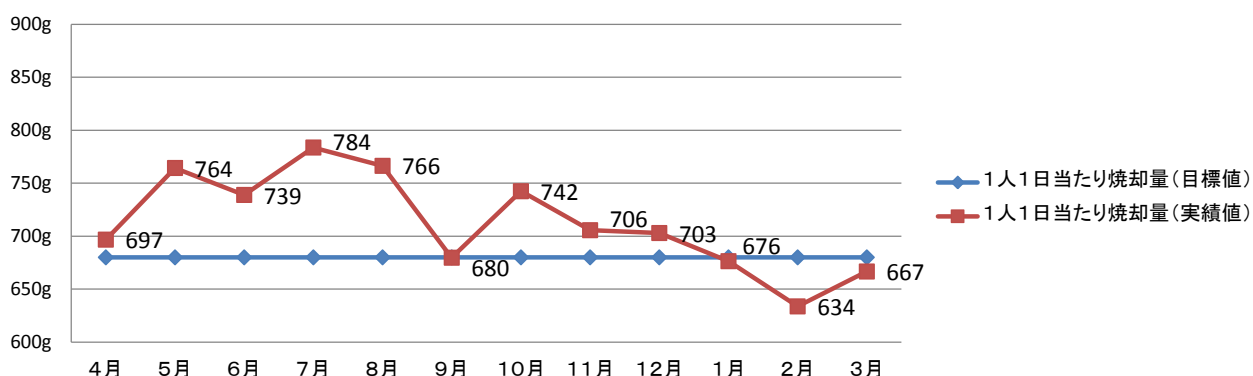
H 24 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1人1日当たり排出量(目標値)	890	890	890	890	890	890	890	890	890	890	890	890
1人1日当たり排出量(実績値)	833	896	872	907	897	810	869	831	845	790	746	778
1人1日当たり焼却量(目標値)	680	680	680	680	680	680	680	680	680	680	680	680
1人1日当たり焼却量(実績値)	697	764	739	784	766	680	742	706	703	676	634	667
資源化率(目標値)	21%	21%	21%	21%	21%	21%	21%	21%	21%	21%	21%	21%
資源化率(実績値)	13.4%	12.0%	12.6%	11.3%	12.0%	13.3%	12.2%	12.5%	13.8%	12.0%	12.5%	11.8%

※目標値は今年度のフジスマートプラン21に掲げる数値。  
※実績値は、下水・し尿汚泥・罹災物・災害廃棄物広域処理を除いた数値。

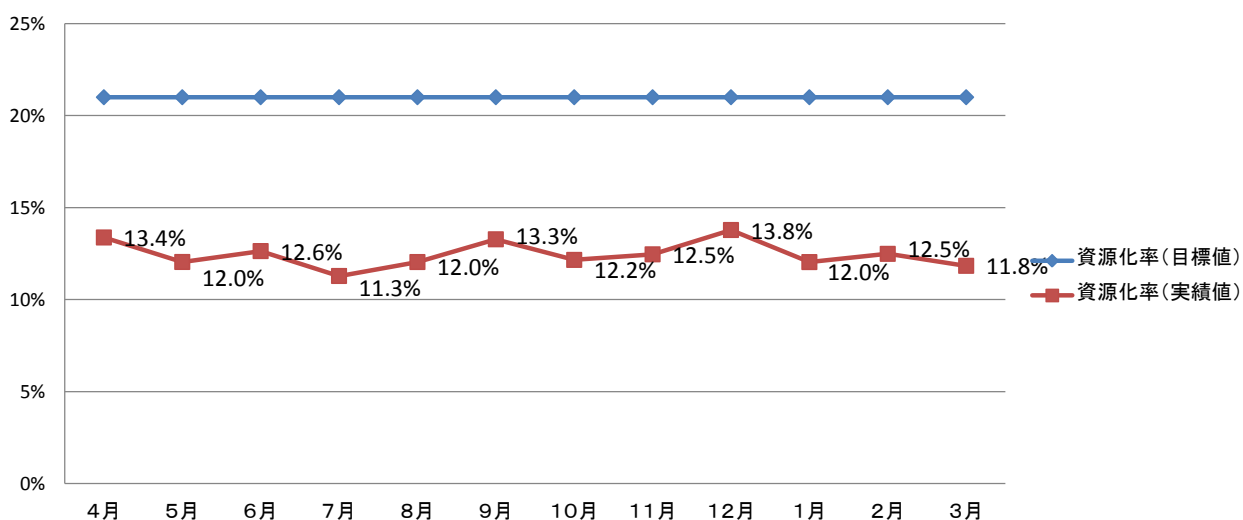
### 各月で見た1人1日当たり排出量の達成状況



### 各月で見た1人1日当たり焼却量の達成状況



### 各月で見た資源化率の達成状況



①1人1日当たりの排出量については、5月、7月、8月で目標値を上回ったが、それ以外の月は下回った。

②1人1日当たりの焼却量については、排出量とほぼ同様な推移を見せた。

③資源化率については、各月で見ても目標値を下回る結果となった。